

学習支援者の集い

平成29年8月4日

29年度第二回の学習支援者の集いを、8月4日午後、カレッジの学習室で開催しました。カレッジの地域交流活動の藤原リーダーと支援者など約30人が参加しました。

水町理事長のあいさつ



(4) 学校支援 (特別支援) 塩屋北小学校 学習支援に対する謝辞と思いについて。

「戦争と平和学習」語り部授業について。

戦争語り部チームの渡辺寛治さん (国10) より。



最初に「29年度の要請に対する対応状況」を岡本より、説明。



要請に対して、支援できていない小学校がある。など

支援学校数の推移、メンバー構成、語り部授業の内容などが紹介されました。



「平成28年度の地域交流グループによる学校支援」について、藤原リーダーより紹介されました。

平成29年度 学習支援要請状況								
	特別支援	教科支援	戦争体験	昔遊び	昔暮らし	新聞作り	読み聞かせ	学校行事
A. 要請あり								
◎ 確認書あり	12	4	5	1	1	1	1	9
B. 要請なし								
● 確認書あり	9	6	7	7	3			1
C. 要請あり								
○ 確認書なし	14	4		2				2
合計	35	14	12	10	4	1	1	12

朱書き個所の対応が必要
継続のために新しい人の参加を進める必要あり。

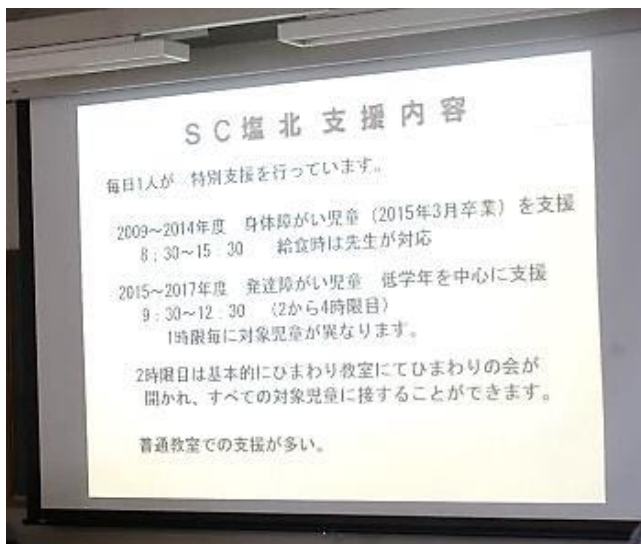


学校支援の件数が最も多い。
OBと一緒に活動している事例もある。

「塩屋北小学校での特別支援の活動事例報告」岡本より。
OB 13名と現役生3名と一緒に多くのメンバーにて活動している。



現役2年生が世話役をしている。当番表の作成など。
毎日1名、当番を決めて特別支援をしている。
学校行事の受付も行っている。
新入生歓迎会、特別支援の体験を行うことにより、新規活動者を。



毎年3月に、児童より寄せ書きがS C塩北メンバーへ。

最後に、「課題に対する対応策の案」を岡本より。
新たに特別支援をする会員の募集方法。
現役生とOBのつながりをどうして築くか。
区会活動との関連について。



多くのご質問ご意見が出されました。

- ・カレッジ地域交流グループとのつながりについて
地域交流グループの活動においてOBと一緒に活動している事例あり。
- ・特別支援をするための資格が必要？
先生の補助を行うものであり、必要はない。かわいと思う気持ちがあれば充分。
- ・子どもが好きで支援をしている。小学校でやれることが嬉しい。ほめることも大事！

終了時刻を過ぎてしまい、ご意見を岡本宛に送付してもらうことにしました。

(配布資料)

- ・グループわ 学校支援一覧表 29年度
- ・「戦争と平和学習」語り部授業の取り組みについて
- ・戦争体験のお話を聞く会 平成28年8月
- ・H28年度戦争と平和学習アンケート（まとめ）
- ・H28年度地域交流会各グループ活動報告書
- ・仲間と共に 学習支援（特別支援）S C塩北
- ・学習支援要請への対応について 課題と対応策 案

(写真：才上眞行 文・編集：岡本統一)